

第六十四回帝國議會
衆議院

少年教護法案委員會會議錄(速記)第九回

會議

昭和八年三月二日(木曜日)午前十一時七分
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 牧野 賤男君

理事 蔭山 貞吉君 理事 中野 勇治郎君

田中 喜代松君 丸山 浪彌君

山本 芳治君 星島 二郎君

犬養 健君 荒川 五郎君

山本 儀重君 青木 亮貫君

栗原 彦三郎君

同日委員 作田 高太郎君 辭任ニ付其ノ補闕ト

シテ 山本 儀重君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 八並 武治君

司法省刑事局長 木村 尙達君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

社會局部長 富田 愛次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

第六類第四號 少年教護法案委員會會議錄

第九回 昭和八年三月二日

古物商取締法中改正法律案(山本芳治君
外二名提出)

少年教護法案(荒川五郎君外六十六名提
出)

○牧野委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、古

物商取締法中改正法律案ノ審議ヲ續行致シ
マス、前會ノ御質疑ヲ以テ本案ニ對スル御
質疑ハ終了シタト思フノデアリマスガ、他
ニ御質疑ハアリマセヌカ

「アリマセヌカト呼フ者アリ」

○牧野委員長 御質疑ナシト認メマス――

討論ニ入りマス

○中野(勇)委員 私ハ本案ニ修正ヲ致シテ

賛成致シタイト存ジマス、即チ原案ノ第十

七條中「贓物ヲ盜品ニ改メ」トアリマスノ

ヲ「改ム」ト致シマシテ、以下全部ヲ削除シ

タイト思ヒマス、是ハ既ニ提案者ガ提案ノ

理由ヲ御説明ニナル際ニモ、此修正ニハ異

議ノナイヤウナ意思ヲ表明セラレテ居リマ
スノト、政府ノ意嚮モ此程度ノ修正ナラバ、

敢テ反對スルモノデナイト云フ意思ヲ表明
セラレテ居リマスカラ、只今申シタヤウニ
本案ヲ修正シテ御賛成アラシコトヲ御願致
シマス

○牧野委員長 提案者ニ一應御同致シマス

ガ、提案者ニ於テモ只今ノ修正ハ御異議ア
リマセヌカ

○山本委員 只今ノ御修正ニ對シテハ異議

アリマセヌ、寧ロ早く御決定ニナルコトヲ

希望シテ居ルノデアリマスカラ、修正ニ同

意致シマス

○牧野委員長 他ニ御發議ハアリマセヌカ

――然ラバ本案ニ付テハ討論ハ終結シテ、

採決ニ入りマス、中野勇治郎君ノ修正說ヨ

リ採決致シマス、中野君ノ修正說ニ御異議

アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○牧野委員長 御異議ナシト認メマス、原

案中「贓物ヲ盜品ニ改ム」ト云フコトニ致シ
テ、以下全部削除スルト云フ修正案ガ可決

付託議案

少年教護法案(荒川五郎君外六十六名提出)
未成年者飲酒禁止法中改正法律案(丸山浪彌
君外十二名提出)
古物商取締法中改正法律案(山本芳治君外二
名提出)
出版權法案(原夫次郎君外六名提出)
助産師法案(野中徹也君外二名提出)
產師法案(土屋清三郎君外三名提出)
產師法案(野方次郎君外二名提出)
產師法案(山道襄一君外三名提出)

ニ相成リマシタ、隨テ原案ニ付テノ採決ハ
必要ト致シマセヌ、本案ハ修正ノ通り可決
シタモノト確定シテ宜シウゴザイマスガ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○牧野委員長 左様ニ決定致シマス

○牧野委員長 ソレデハ少年教護法案ニ付
テ審議ヲ續行致シマス

○荒川委員 少年教護法ハ皆様ノ非常ニ熱

心ナ同情的ノ御審議ヲ受ケマシテ、前會ニ

於テ委員長、理事、提案者等ヲ加ヘテ懇談

ヲ開イテ、内務、司法、兩省ノ直接關係者

ノ出席ヲ求メテ懇談スルト云フコトニナリ

マシタ、其以外ニ政友會カラハ田子君、山

下君、其他ノ提出者並ニ委員中ノ星島君、

田中君、山本君ガ御出席下サレ、民政黨カ

ラハ山本君、青木君其他ノ方ガ御出席下

サイマシテ、懇談致シマシテ、司法省ノ本

案ニ賛意ヲ表スルニ困難トスル點ヲ一々説

明ヲ乞ウテ質問ヲ致シ、其結果提案者タル
私共ニ於テ、其司法省ノ此法案デハ賛成シ

兼ネルト言ハレル點ニ付テ考究致シテ、ソレヲ出來ルダケ其御希望ニ適フヤウニ修正簡條ヲ纏メマシテ、サウシテ本日提出スルヤウニト云フ委員長カラノ御指圖ノ通りニ致スベク、只今委員長其他ノ方ノ御手許ニ差出シマシタ案ガ即チソレデアリマス、簡單ニ要點ヲ申上ゲマスレバ、第一條ノ第二項十四歳以上ノ者、即チ少年法ノ實施セラレザル明放シテアル所ハ、差向キハ此少年教護法デ、是ハ各府縣ニ在ルモノデアリマスカラ、是デ便宜ノ教護ヲ致サウト云フノデアッタノデアリマスガ、ソレガ本則的ニナッテ居ルト云フコトハ、司法省ノ同意シ兼ネル重大ナ點デアル、デアリマスカラソレハソレヲ認メマシテ現感化法ノ通りニ、即チ現行法ノ通りニ是ハ第一條二項ヲ削ッテ附則ニ入レルコトニ致シマシタ、ソレカラ少年鑑別所ヲ設置スルト云フコトヲ、司法省ハ初メ非常ニ重キヲ置イテ考ヘラレ、少年審判所ノ如キ少年法ニ依ル審判所ト、少年教護法ニ依ル少年鑑別所、斯ウ獨立シタモノ、ヤウニ考ヘラレテソレニ反對デアッタ、所ガ此少年鑑別所ト言フノハ地方長官ノ少年ヲ處分致シマスノニ、地方長官ノ便宜ノヤウニ特ニ其處ニ専門ノ者ヲ置イテ、便宜ニ計ラウ場所ヲ造ルト云フノ

ガ趣意デ、地方長官ガ處分スルト云フ法ノ精神ニハ何等變リハナイノデアリマスケレドモ、餘リニ鑑別所ト言ヘバ事柄ガ大キゲニ見エテ、人ノ神經ヲ刺戟スルヤウナ名ニナリマスカラ、之ヲ「少年鑑別機關ヲ設置スルコトヲ得」之ヲ地方長官ノ手足ニナル鑑別機關ヲ造ラウ、斯ウ云フ意味合ニ致シマシテ、ソレヲ「設置スベシ」ト云フノヲ「設置スルコトヲ得」ト云フコトニ改メタノデアリマス、ソレカラ第三ニ少年法ノ規定ノ中ニ、感化院ニ送致スル簡條ガアルノデアリマス、是ハ我方教護法ニ於テモ何等變更ヲ試ムル意思ハナク、ソレヲ引受ケル積リデアッタノデアリマスガ、既ニ少年法ノ規定ニ法文嚴トシテ存スル以上ハ、之ニナクテモ宜イカト思ッテ掲ゲナカタノデアリマシタガ、ソレヲ少年審判所カラ感化院ニ送ルト云フノヲ、教護院ハ受ケナイヤウニ司法省ニ解釋セラレマシタノデ、其疑義ヲ明ニスル爲ニ、第八條第一項ニ第四號ヲ設ケテ「少年審判所ヨリ送致セラレタル者」ト云フ一號ヲ入レルコトニ致シマシタ、ソレカラ次ニハ處分ノ變更ソレ等ニ付テモ意味ガ明デナイト云フノデアリマス、ソレデ第十六條第二項ノ前段ニ「第八條第九條ニヨリ入院ヲ命セラレタル者」ガ、ソレガ處分ヲ變

更セラレタ場合デモト云フ意味デ、其處ヘ其意味ヲ明ニ致シマシタ、ソレカラ五番目ニ第二十五條ノ簡條ガ、義務教育ヲ終了シタト云フコトヲ認メル簡條デアリマスガ、是ハ文部省ノ方デ、唯學力トアッテハ本人ノ人物、特性ノコトガ分ラヌ、教育ハ大事デアルカラ、其意味ヲ表サウニト云フ希望ガアリマスノデ、是ハ「在院者ノ學力」ト云フ、其學力ヲ「在院者ノ知徳修養ノ成績」ト改メマシタノデアリマス、ソレカラ第六ハ、先ノ第一條第二項ヲ削ッタ結果トシテ、現行法ノ通りニ之ヲ附則ニ入レテ、十八歳マデノ者ヲ教護スル當分ノ規定ヲ附則ニ入レルコトニ致シタノデアリマス

以上、今日全國ノ感化業者ハ、此法ノ改善ヲ熱烈ニ希望致シテ居リマス、然ルニ司法省ノ方ノ了解ヲ得ズシテ是ガ通過シナイト云フコトニナリマシタハ、我方少年感化教護ノ上ニ、非常ナ打撃頓挫ヲ與ヘマスノデアリマスカラ、出來得ルダケ茲ニ御希望ノ趣旨ニ適フヤウニ是等ノ簡條ヲ全部採入レマシテ、サウシテ斯様ニ改正ヲ致シタラ、茲デ總テノ御了解ヲ得ル途ト思ヒマシテ、本案ノ一日モ速ニ御採上ヲ願ヒタイト云フ誠意ヨリ、斯様ニ案ヲ立テマシタ次第デゴザイマスガ、ドウゾ司法ノ當局ニ於カセラレテハ、私共ノ誠意ノ存スル所ヲ御認メ下サレ、尙ホ内務省方面ニ於カレマシテモ、是モ諒トセラレンコトヲ望ムノデアリマス、一體私ハ今ノ社會局長官其他ノ方ニハ御話シタコトハナイノデスガ、從前ノ當局者ニハ度々此事ヲ話シタ所ガ、常ニ餘リ氣乗リガセヌヤウデアリマシタカラ、ソコデ是ハ内務ニモ司法ニモ關セズニ、私共ガ己レ一個ノ力ヲ以テハ容易デハアリマセヌケレドモ、等シク 陛下ノ赤子ニシテ、家庭ヤ社會、環境ノ爲ニ可惜不幸ニ陷ッテ居ル者ヲ助クルコトハ、人道ノ上ノミナラズ、彼等ヲ放ッテ置クト云フコトハ虎ヲ野ニ放ツガ如キモノデアアル、社會不安ハ益、甚ダシキヲ加ヘマスカラ、教育家トシテモ、爲政者トシテモ、斷ジテ等閑ニ附スルコトハ出來マイト思ヒマシテ、多年ノ心血ヲ披瀝シテ此處マデ至ッタノデアリマスガ、此間ノ懇談會デ承レバ、内務省ノ方モ熱心ニ是ニハ案ヲ立テ、司法省ニ御交渉ナドガアッタノダサウデアリマス、然ルニ其間ニマダ双方ノ一致點ヲ缺ク點ガアッテ、延期シ來ッタヤウナコトデ、内務省ナドハ之ヲ等閑ニ附セラレタモノデハナイガ、兩省ノ間ニ左様ナ關係ガアルモノデアアルカラ、隨テ表面的ニ私共ガ承レバ或ハ冷淡カノヤウニ見エタ

ノデアリマスガ、實際ハ決シテ左様デナイ
ト云フコトヲ承リマシテ、私ガ安心シタバ
カリデハナイ、全國ノ感化業者モ安心致シ
タ譯デアリマス、シテ見レバ此案ヲ成立サ
スニ於テ、内務省ハ勿論、又此ヤウニ改正
スレバ司法省モ援助ヲシテ下サル譯ト思ヒ
マス、殊ニ委員諸君ハ皆御同情ヲ以テ、非
常ニ御多用中ニモ拘ラズ度々之ヲ審議シテ
下サル場合デアリマスカラ、此上ハドウゾ
各員全部一致スベク茲ニ案ヲ立テマシテ、

一日モ速ニ衆議院ハ通過シテ貴族院ニ送ラ
レルヤウニ、滿堂ノ特ニ御同情ヲ願ヒ、又
委員長ノ一段ノ之ニ御配慮ヲ願ヒタイト思
ヒマス

○山根委員 議事進行ニ付テ——只今荒川
委員ヨリ御話ガアッタデアリマスガ、實ハ
議事ノ順序ハドウ云フ風ニナッテ居ルカ、是
ハ半バ懇談會ノヤウデアリマスノデ、ハッキ
リ致サナイノデアリマスガ、此間迄デ公式
ノ質問ハ大體済ミ、且ツ懇談會デ打解ケテ
ノ話合ヒモ大體済ンデ居ルノデアリマス、
ソレデ此間懇談會ノ際ニ逐條ニ一ツ審議シ
テ行カウ、斯ウ云フ御話デアット思フノデ
アリマスカラ、ドウデスカ、先ヅ質疑ハ一
應打切ッタコトニセラレテ、サウシテ提案者
ノ方カラ修正ノ意見ガ出テ居ルシ、今ノヲ

正式ノ討議ト看做スカ、ドウカト云フコト
ハ、是ハ後デモ宜カラウト思ヒマス、サウ
云フ御意見ガ出テ居ルノデスカラ、所謂討
論ニ入ル意味ニ於テ、第一條カラ片端カラ
大體決メテ行ッテ見タラ如何カト思フノデ
アリマス

○牧野委員長 御諮リヲ致シマス、是ハ前
會ニ於テ本案ニ對スル大體ノ質問ハ略々盡
キタト思ッタデアリマスガ、尙ホ御質問ガ
アレバ……

○星島委員 質問打切ノ山根君ノ動議ニハ
賛成ヲ致シマスガ、今ノ荒川君ノ御發言ハ、
斯ウ云フ風ニ懇談會ノ結果、修正シテ見タ
イト云フコトデアルト思ヒマスガ、ソレニ
對シテ政府當局ハ同意スルカセヌカト云フ
質問ト御扱ヒニナッテ、大體政府ノ之ニ對ス
ル意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○牧野委員長 其方ノ處置ハ後デ致シマ
ス、各員ニ於テ大體御質問ガナケレバ、是
デ質問ヲ打切ッテ、逐條審議ニ入りタイト思
フノデスカ、御異議アリマセヌカ

○山根委員 只今星島君カラノ御意見モ
アッテ御尤ト思フノデスカ、ト云フノハ政友會
ニ致シマシテモ、我が黨ニ致シマシテモ、
此處デドンノ討議ヲシテ行ッテ、修正スベ

キ箇所ヲ公式ニ速記ニ殘シテ、修正ノ案ヲ
決メテ行キマスト云フト、御互ニ黨ニ歸ッ
時ニ甚ダ困ル立場ニナルデアラウト思フ、
其御心配カラ荒川提出者ノ御希望ノ趣旨ニ
對シテ政府カラ賛否ヲ聞キ、委員ノ賛否ヲ
聞イテ、サウシテ荒川氏ノ修正動議ヲ審議
シタ程度ニ止メタイト云フコトガ、星島君
ノ御意見デアラウト私ハ推測スルノデアリ
マス、ソレデサウ云フ形式ヲ取ッテ修正ノ
箇所ヲ決メテ、提出者ノ意思ノ如キ修正ノ
箇所ヲ決メテ行ッテ、其提出者ガ修正セラレ
ントスル所ヲ、吾々ガ同意スルカ否カト云
フコトヲ後デ決メル形ニシテ置ケバ、裕リ
ガ付クノデハナイカト思ヒマスカラ、矢張
荒川君ノ御意見ヲ中心ニシテ、ソレガ適當
デアルカ否カト云フコトダケヲ質疑應答シ
テ行ッテ居ルト、斯ウ云フコトニシテ、大體
此處デ決メタ形ニナッテモ宜シイガ、最後ノ
所ハ各黨ニ歸ッテ承認ヲ求メル餘裕ダケヲ
殘シテ置キタイト思ヒマス、其方ガ宜カラ
ウト思ヒマス

政府ガ贊同セラレルヤ否ヤヲ問フト云フ程
度ニ於テ、委員會ノ結果ヲ待ッテ、ソレカラ
各黨ニ歸ッテ協議ノ上採決スルト云フ順序
ニナルデアラウト思フノデアリマス——大
體ニ於テ御質問ガナケレバ、逐條的審議ヲ
致シタイト思ヒマス、ソレデハ先ヅ少年教
護法ト云フ法案ノ名前カラ一ツ諸君ノ御意
見ヲ伺ヒマセウ

○荒川委員 簡單ニ説明致シマスガ、私ハ
之ヲ打解ケタ名ニシタイト思ヒマシテ、幾
種カノ名ヲ考ヘマシタ、所ガ丁度ソコニ社
會事業調査會ノ私家ガアリマシテ、ソレヲ
見ルト少年教護法ト云フヤウニ、ソレカラ
全國ノ感化業者ガ少年教護トシタイト云フ
意見モゴザイマシテ、旁、私ハ名ヲ教育的
ニ、一般世俗的ノ名ヲ用キタイト思ヒマシ
タガ、ソレ等ハ申上ゲマセヌ、ソレデ斯ウ云
フ名ニ致シマシタ、何時カモ申上ゲタカモ
知レマセヌガ、亞米利加デハ之ガ學校ト云
フ名ニナッテ居リマス、所ガ學校トシテモ、
學校ト云フモノハ家庭カラ通フモノデアリ
マス、或ル時間ヲ居ル所ガ學校デアアル、然
ルニ是ハ二六時中其處ニ居ルノデアルカラ、
ソコデ「カルホルニア」州ニ先年出來マシ
タ法ハ中央政府ノ認可ヲ得テ、ソレカラ亞
米利加ノ文部省即チ州教育局ノ認定デ、全

部小學校ト同様ニ看做サレテ居ル案ハ、二十四時間學校法、晝夜總テガ學校デア、斯ウ云フノ二十四時間學校法ト云フ名ニナツテ居リマス、從來ノ感化法ト云フノモ一體惡イ名デハナイ、今ノ司法大臣ノ實見デアラレル高瀬眞卿氏等ガ研究シテ作ラレタ名デアリマス、然ルニ爾來感化スルト云フノハ、不良惡性ノ者ト云フコトヲ前提トシテ、ソレヲ感化シヤウト云フコトニナルカラ、其所ニ來タ者ハ皆ナ惡人ノ卵デモアリ、危險分子デアルト云フヤウニ世間ニ感ゼラレルト云フト、其處ヲ卒業シタ者ヲ小僧ニ使ヒ、或ハ事務員ニ使フ際ニ、是ハ皆ナ惡性ノ者デアッタト云フコトニナルト、サナキダニ就職難ノ今日、サウ云フ者ハ兎角忌避セラレル嫌ヒガアリ、折角善良ニナツ者ヲ、復タ世ノ中ニ出ル途ヲナクシテ、迷ハスヤウナコトニモナリマスカラ、隨テソレ等ヲ止メテ、サウシテ感化法ト云フ意味ヲ改メテ、教護法トシヤウト云フコトニ致シタノデアリマス、此題目ハ極メテ重大デアリマスカラ、一應私共ガ苦心シタ所ト、ソレカラ一般ニモサウ云フヤウニ認メラレテ居ル所ガアルノデアリマスカラ、ソレデ之ヲ少年教護法トシタラ宜カラウト、斯ウ云フ積リデス様ニ致シタノデアリマス

○山柙委員 此間懇談會ノ際ニ承リマス、内務省デモ少年教護法ト云フ名前ニ積極的ニ變ヘルガ宜イカ、或ハ他ニ好イ名前ガアルカモ知ラヌガ、教護法ト云フ名前ヲ附ケラレテモ、積極的ニ反對スル考ガナイト云フ御話デアリマシタガ、詰リ此名前ニ付テ別ニ積極的ニ反對ニナル程ノ御考ガアルカ、今念ノ爲ニ承ッテ置キサヘスレバ宜シイト思ヒマス、内務省ト司法省ニ承ッテ置キタイト思ヒマス

○富田社會局部長 只今、社會事業調査會デスウ云フ名ガアッタト云フ御話ハ、ソレハ少シ誤ッテ居リマシテ、少年教護法トシタノデハナイノデアリマシテ、感化法改正案ト云フノデ、社會事業調査會デハ決定ニ相成ッテ居ルノデアリマス、併シ法案自體ト致シマシテ、要ハ法ノ内容ニ依ルコトデアリマスカラ、私共ト致シマシテハ内容ニ依ッテ決定スレバ宜イノデアリマスカラ、法案ソレ自體ノ名稱ニ付キマシテハ、別ニ積極的ニ反對ト云フ考ヲ有ッテ居リマセヌ

○木村政府委員 司法省ト致シマシテモ、要スルニ内容ガ問題デアリマスカラ、名前ニ付テ兎角ノ意見ハアリマセヌガ、唯少年法ニハ感化院ト云フコトガ明示サレテ居リマスガ、解釋上ハ教護院トナルカモ知レマ

セヌ、此點ダケヲ御參考ニ申上ゲテ置キマス

○牧野委員長 ソレデハ第一條ノ本條ノ方ニ入リマス、第一條ニ付テノ御意見ヲ御伺シマス

○山柙委員 只今提案者ガ第一條ノ第二項ヲ削除シテ妥協シタイト云フ御意思ノヤウデアリマシタ、サウスレバ先日司法省ノ御話ニナツタ點トハ一致スルコトニナルト思フノデアリマスカラ、宜カラウト思ヒマス

○牧野委員長 ソレデハ第二條——別段御意見ナケレバ第三條——御意見ナケレバ第四條ニ移リマス

○山柙委員 此提案者カラノ修正ノ文書ヲ拜見致シマシタガ、是ハ少シ差支ガアリハセヌカト思フノデス、ソレデ「道府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ少年ノ保護方法ヲ鑑別スル爲少年鑑別所ヲ設置スベシ」トアルノヲ、少年鑑別所ト云フ名前ノ爲ニ「少年鑑別機關ヲ設置スルコトヲ得」トナツテ居リマス、サウスルト第二項、第三項ノ文字モ自ラ修正ヲシナケレバナラヌコトニナツテ來ルノデアリマス、御趣旨ハソレダケデ分ッテ居リマスガ、文章トシテハ後デ整理シナケレバナラヌト思ヒマス、ソレヲ提案者ニ於テ御承認置キラ願ヒタイト思ヒマス

○荒川委員 是ハ全部要點ダケヲ申上ゲマシタノデ、隨テ「設置スルコトヲ得」トナツテ居リマスカラ、但書モ削ッテシマウテ宜イノデアリマス、サウ云フヤウナコトヤ、竝ニ第五條ニモ「鑑別所」トアリマスカラ「鑑別機關」トスルト云フコトハ澤山アラウト思ヒマス、原則的ノ箇條ダケヲ申上ゲタノデアリマス、ソレニ伴ウテ全部ヲ御訂正願ヒマス

○牧野委員長 御諮リ致シマス、只今ノ第四條ノ修正ノ御意見、竝ニ之ニ類スル修正等ハ、或ハ澤山アルカモ分ラヌト思フノデアリマスカラ、是ハ後デ纏メテ整理ヲ致スト云フコトニシテ、議事ヲ進行シタ方ガ宜イト考ヘマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○牧野委員長 御異議ナケレバ左様ニ決定致シマス——第五條

「意見ナシ」ト呼フ者アリ

○牧野委員長 第六條

「意見ナシ」ト呼フ者アリ

○牧野委員長 第七條——御意見ガナケレバ第八條

○山柙委員 是モ只今提案者カラ修正ノ御意見ノアッタ、少年法ニ依ル少年審判所ヨリ送置セラレタル者ヲ受得ルヤウナ風ニ、條

文ヲ修正スルコト宜カラウト思フノデア
リマス

○牧野委員長 是モ後デ條文ヲ整理スルコ
トニ致シタイト思ヒマス——次ハ第九條

「意見ナシ」ト呼フ者アリ」

○牧野委員長 ソレデハ第十條

○富田社會局部長 進行中デアリマスケレ
ドモ、第四條ノヤウニ、少年鑑別所ヲ設置

スベシト云フヤウニ、國方直チニ是デ義務

ヲ負フト云フヤウナ事ガアリマスガ、實際

問題トシテハ可ナリ「困難」ト思ヒマスガ

ラ、茲デ義務ヲ規定スルコトハドウカト考

ヘマス

○中野(勇)委員 只今ノ内務省ノ御心配ハ

無用ダト思ヒマス、即チ第四條ガ既ニ「少

年鑑別機關ヲ設置スルコトヲ得」ト云フ文

字ノ修正ガ保留サレテ居リマスカラ、只

今御心配ノヤウナコトハナカラウト思ヒマ

ス

○木村政府委員 司法省ト致シマシテハ、

今日此修正條項ヲ拜見致シマシタガ、尙

ホ修正條項ト各條ノ關係、或ハ少年法ノ

關係等モ考ヘナケレバナリマセスカラ、本

日此各條ヲ御進行ニナリマシテモ、直チニ

總テノ問題ニ付テ意見ヤ、或ハ是非ノ考ヲ

述ベル所ノマダ地位ニ居ナイノデアリマ

ス、ソコデ是ガ假ノ決議デアレバ宜シウゴ
ザイマスケレドモ、唯默ッテ居リマスガ爲

ニ、總テ司法省ガソレニ贊意ヲ表シタヤウ

ニ御取リ下サラヌヤウニ願ヒマス

○牧野委員長 御意見ガナケレバ第十條

○星島委員 政府トシテ責任アル贊否ノ意

見デハナシニ、各條ニ付テノ御意見ガアレ

バ伺ヒタイト思ヒマス

○牧野委員長 贊否ノ意見デハナク御意見

ガアレバ伺ヒマス

○木村政府委員 今ノ所ドチラトモ申上ゲ

ラレマセヌガ、實ハ私共根本ニ付テ意見ガ

アリマスガ、議事ノ進行ニ御迷惑デアラウ

ト思ヒマスカラ、後刻適當ナ機會ニ申上ゲ

ルコトニ致シマス

○牧野委員長 ソレデハ次ノ第十一條——

御意見ガナケレバ第十二條

「意見ナシ」ト呼フ者アリ」

○牧野委員長 デハ第十三條

「意見ナシ」ト呼フ者アリ」

○牧野委員長 ソレデハ第十四條

「意見ナシ」ト呼フ者アリ」

○牧野委員長 第十五條

「意見ナシ」ト呼フ者アリ」

○牧野委員長 第十六條

項ヲ提案者ガ出シテ居ラレルノデスガ、先
程御説明ヲ聽イタノデスガ、少シハッキリシ

ナイノデス、此十六條ニ付テ先日懇談會ノ

際、保護課長カラ意見ヲ述ベラレマシタ點

ハ、第十一條ニ依リ變更處分ニ付セラレタ

ル者ハ在院者ト看做ス」斯ウ云フコトデア

リマス、サウスルト、此十一條ノ規定ニ依ッ

テ前第三條ノ八、九、十ノ教護院ニ入院セ

シムル手續ノ點ニ付テ變更ヲ加ヘタ場合デ

アリマス、即チ教護院外ニ出シタ場合、其

教護院外ニ出タ者ニ付テ、教護院長ガ相變

ラズ親權ヲ行フ、斯ウ云フコトニナレバ非

常ニ困ル、其場合ニ親權ヲ行フ教護院長ト

新ニ又外ニ居ルノデアリマスカラ、少年法

ヲ或ル場合ニハ適用サレル年齡ニナッテ居

ル、サウスルト、ソチラノ方ト身分ノ取遣リ

ガ起ルト云フコトニナッテ困ルト云フ此

御話デアッタノデス、其事ヲ調和スルヤウニ

シナケレバナラスト思フノデアリマスガ、

第八條、第九條ニ依リ入院ヲ命ゼラレタル

者ト變ヘテモ、矢張是ハ今ノ議論ハ殘ルノ

デアリマスガ、提案者ノ方ハ如何デアリマ

セウカ

○荒川委員 此間司法省ニハ親權ノコトニ

重キヲ置イテ、此親權ヲ行フト云フコトニ

感化院ノ第八條ノ文章ヲ持ッテ來マシテ、ソ
レカラ只今ノ變更ニ付テハ、此少年教護法

ニ依ッテ變更シテ、サウシテ家庭或ハ其他ノ

施設ニ預ケタ者ハ、矢張此法ニ依ル在院者

ト看做ス、ソレカラ少年法ニ依ッテ、サウ云

フ保護處分ヲセラレタ者ハ、少年法ノ規定

ニ依ル、斯ウ双方ガ其法律ニ依ッテ決メ、其

法ノ機關ニ依ッテ處分シタ者ヲ、ソレハ其

法ニ依ッテ扱フ、斯ウ云フ意味ニ解釋シテ置

イタナラバ、先ヅ差支アルマイ、斯ウ思ヒ

マシテ敢テ其處ヘ煩瑣ナ規定ヲ入ル、コト

ヲ致サナカッタノデアリマス

○牧野委員長 一寸荒川君ニ御尋致シマス

ガ、アナタノ修正ノ御意見ハ、十六條二項

ニ依リ、第八條、第九條ニ依リ入院ヲ命ゼ

ラレタル者ト、第十一條ニ依リ變更處分ニ

付セラレタル者ハ、共ニ在院者ト看做スト

云フ御趣意デスカ

○山柊委員 修正條項ヲ全部讀上ゲテ戴イ

タラ能ク分ルト思ヒマスガ……

○荒川委員 「第十六條教護院長ハ在院者

ニ對シ親權ヲ行フ但シ親權者又ハ後見人ア

ル者ニ對スル財産管理權ニ付テハ此ノ限ニ

在ラス第八條第九條ニ依リ入院ヲ命ゼラレ

タル者第十一條ニ依リ變更處分ニ付セラレ

タル者ハ在院者ト看做ス」

○牧野委員長 其意味ハ第八條、第九條ニ

依リ入院ヲ命ゼラレタル者ニシテ第十一條ニ依リ變更處分ヲ受ケタ者ハドウ云フノデスカ

○荒川委員 サウ云フ意味デス

○中野(勇)委員 提案者ニ一寸御相談シテ見タイノデスガ、只今提案者ノ修正セントセラレル第二項ハ、第十條ヲ除カントスル御意思デアリマスカ、先刻山橋君カラ御尋ニナツタ第十條ハ「内務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ教護院出院後ト雖當該少年ニ對シ適當ノ保護監督ヲ行フベシ」

第十一條ハ「前三條」デアリマスカラ、第十條ノ場合ヲモ含ンデ居リマスケレドモ、提案者ガ第二項ヲ修正セラレントシテ、特ニ第八條、第九條ト云フコトヲ述ベラレテ、第十條ヲ言ハレヌノハ、第十條ヲ除カレル意味デ、出院後ハ親權ヲ行ハナイ、代行シナイト云フ意味デスカ、其點ヲ御尋致シマス

○荒川委員 第十條ハ第十條ノ儘デ獨立シテ其意味ハ明カト思ヒマス、唯變更シテ適當ナ施設又ハ家庭ニ委託シタ者ハ、ソレ等ハ教護院ニ今日居ル者デハナイノデアリマスケレドモ、變更セラレテ其處ニ居ル者ハ、矢張都合ニ依ッテソレハ行ツタモノデアルカラ、其處ニ在院者ト看做シテ保護ノ手ヲヤ

ル、サウ云フ意味デ、ソレダケヲ此處ニ明ニシテ置ケバ、即チ此法デ支配スルモノハ矢張此法ニ依リ、少年法ニ依ルモノハ少年法ニ依ルカラ、双方年齢ハ同ジヤウデモソレハ差支アルマイト考ヘタノデアリマス

〔速記中止〕

○牧野委員長 ソレデハ第十六條ハ後廻シト致シマシテ、第十七條

〔意見ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員長 第十八條

〔意見ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員長 第十九條

〔意見ナシト呼フ者アリ〕

○山橋委員 逐條審議デヤツテ居ル中ニ、私共ノ氣付カヌ點ガ色々アルダラウト思ヒマスカラ、若シ政府委員ノ方デ、是ハ重大ダト思フ點ハ遠慮ナク御注意ヲ願ヒマス

○牧野委員長 第二十條

〔意見ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員長 第二十一條

〔意見ナシト呼フ者アリ〕

○富田社會局部長 御注意マデニ申上ゲマスガ、直接内務省所管デハナイノデアリマスガ、國庫ノ負擔ニナル場合、第二十條、第二十一條ノ職員ノ給與全部國庫負擔ノ問題デアリマス、ソレ以下ハマダ審議ニナツテ

居リマセヌガ、二十二、二十三、是ハ何レモ大藏省ノ關係デアリマスカラ、國庫負擔ノ部分ニ付テハ、當該大藏省ノ政府委員ニ御確メノ上デ御決定ニナルコトガ便宜カト思ヒマス、ソレ等ノ意見ハ茲デ申上ゲルコトハ出来マセヌ

○牧野委員長 第二十二條

〔意見ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員長 第二十三條

〔意見ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員長 第二十四條

〔意見ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員長 第二十五條

○山橋委員 提案者ノ御修正ノ御意味ハ能ク分ッテ居リマスガ、御修正ノ御言葉ノヤウニ「在院者ノ知徳修養ノ成績ヲ考查シ」デハ少シ文章トシテモ何ダシ、又學力ハソレデハ見ナイデモ宜イカト云フコトニモナルノデアリマスカラ、私ハ同ジ心持ヲ現ハスニハ、教護院長ハ在院者ノ成績ヲ考查シト言ヘバ、成績ハ體育、知育、德育全部ヲ含マレルカラ、サウ云ツタ方ガ私ハ適當ダラウト思ヒマス、若シソレデモイカヌト云フナラバ知徳、體育ノ兩方入レナケレバ、義務教育トシテイケナイモノダカラ入レナケレバナラスト思ヒマス、意味ダケデス、サウ云フ

意味デアルカドウカラ一應承ッテ置キサヘスレバ、後ハ法文ハ整理スレバ宜イト思ヒマス

○荒川委員 只今ノ御意見ニ何等反對ハ致シマセヌ、唯知徳ト云フノハ、知ト云フノハ學力、斯ウ云フ意味デヤツタノデアリマスガ、ソレデナシニ、成績ト變ヘラレテモ宜カラウト思ヒマス

○牧野委員長 是ハ後デ審議スルコトニ致シマセウ——第二十六條

〔意見ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員長 第二十七條

〔意見ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員長 ソレデハ附則

○中野委員 一寸提案者ニ伺ヒマスガ、第一條ノ第二項ヲ削除シテ、之ヲ附則ニ廻スト云フノデアリマスガ、附則ハ現在モ澤山アルノデスガ、附則ノドウ云フ所ニ附ケルノデスカ

○荒川委員 附則ハ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フノガ第一項デアリマス、其次ニ第二項ヲ入レマシテ、ソレデ「第一條第一項ノ年齢ハ少年法ニ依ル保護處分ノ實施セラレザル地域ニ限リ十八歳トス」ト斯ウ云フコトヲ第二項ニ加ヘタイノデアリマス

○中野委員 分リマシタ

○犬養委員 一寸簡單ニ提案者ニ伺ヒマスガ、第二十七條デアリマス、提案者ノ定メタ大凡ノ御心持ハ略推察シテ居リマスガ、念ノ爲ニ伺フノデアリマスガ、但シ教育ノ目的ノ爲ニスル場合ハ此ノ限ニ在ラズトアリマスガ、此コトニ付テ極ク簡單ニ御説明ヲ願ヒマス

○荒川委員 是ハ一切書カレナイト云フト、色々ナ本人ノ性情、改善セラレタル跡ナドガ、教育ノ目的ノ爲ニハソレヲ引用シタリ、研究ノ材料ニシタリスルヤウナコトガ往々出テ來ヤウト思ヒマシテ、ソレデ普通ニ所謂三面記事トシテ世間ニ擴メルコトハ避ケタイト云フノガ本則デ、ソレ以外ニソレ等ガ少年教護ノ色々ナ研究材料、或ハ一般教育ノ材料ニスル場合ガアラウト思ヒマシテ、ソレデ但書ヲ加ヘタノデアリマス

○牧野委員長 一寸御諮リ致シマス、一應逐條的ニ御意見モ伺ツタ譯デスガ、此程度ニ於テ一旦整理スル方法ヲ考ヘテ見タイト思フノデスガ、小委員デモ設ケタラドウデス
○富田社會局局長 內務省トシテハ一度ハ審議シタノデアリマスガ、例ヘバ第一條ニ制限ヲ置イテアリマス、後ノ少年ト云フ

コトニ付テモ一々定義ヲ下サナケレバナラヌコトニ相成リマスシ、其他ノ點ニ於テモ、

地方費ノ負擔若クハ其趣旨ニ於テモ、マダ御提案ニナツテ初メテ拜見シテ居ル點モアリマスカラ、研究シタ上デアリマセヌト御答出來ナイコトガアリマス、ソレデ發言シナイト云フコトハ同意ヲシタト云フ意味デアリマセヌカラ、其點ダケハ留保致シマス

○中野委員 文章ノ整理モ色々アリマスカラ、小委員モ結構デアリマスガ、ドウデセウ、只今山橋君モ言ハレル通りニ、大體トシテ本案ニ賛成スルカセヌカラ決メテ置カヌト云フト、小委員ヲ設ケテモ無意味ノ場合ガナイトモ限リマセヌ、ソレデ今日ハ此程度ニシテ戴イテ、大體原案ニ賛成スルノデアレバ、文章ノ整理ト云フコトニナリ、小委員モ結構デアルト思ヒマス

○牧野委員長 一寸ドウモ賛成ヲ豫約スル小委員ト云フノハ困ルノデスガ……、小委員ヲ設ケテモ濟ム迄ハソコニ賛否ヲ留保シテ置ク譯デスカラ、此法案ニ對スル研究ノ方法トシテ小委員ヲ以テ審議シテ貰フ方ガ先デハアリマセヌカ
○荒川委員 併シ政治問題デハナイノデ、各黨デモサウ異議ハアルマイト思ヒマスガ、ドウデスカ

○牧野委員長 一寸速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○山橋委員 速記ヲ取ッテ下サイ——今中野君ノ御話モアリマシタ次第デアリマスガ、委員長ノ御計ラヒハ中々妙味ガアルト思フノデアリマス、先ヅ委員ノ間デ若シ此位ナモノガ出來上ルナラバ、一ツ通シテモ宜カラウト云フヤウナモノガ出來ルナラバ宜シ、若シサウ云フモノガ出來ナイナラバ又考ヘ直サナケレバナラヌ、マダ今ノ大體ノ質疑應答竝ニ大體ノ修正意見ダケハ贊否ヲ決定シ難イ、斯ウ云フ場合モアリ得ルト思ヒマスカラ、成ベクサウ云フ委員ノ間ニ、宜カラウカモ知レヌト思ハレル案ヲ一ツ作上ゲル意味ニ於テ、整理ノ方法ヲ立テテ下サル方ガ宜カラウト思ヒマス、ドウゾ中野君モ其意味ニ於テ御賛成下サルヤウニ御願致シマス

○中野(男)委員 異議ハアリマセヌ
○牧野委員長 荒川君御意見ハアリマセヌカ
○荒川委員 モウアリマセヌ
○星島委員 小委員ハ委員長ノ指名ニ御願致シマス
○牧野委員長 御諮リヲ致シマス、小委員ヲ設ケルトスレバ、其人員竝ニ選定ノ方法

ハ如何致シマスカ

〔委員長ニ一任シマス〕ト呼フ者アリ

○牧野委員長 委員長一任ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○牧野委員長 ソレデハ追テ指名致シマス
○犬養委員 附加ヘルヤウデアリマスガ、先程ノ二十七條デスガ、此「教育ノ目的」ト云フダケデハドウモ意味ガ曖昧デアルト思ヒマスカラ、小委員ニ選バレタ方々ニ於テ、適當ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ト云フノハ、提案者ガ此文字ヲ御使ヒニナツタ御心持ハ能ク分リマシタ、要スルニ此少年教護法ニ依ッテ教護院ニ入レラレタ、其個人ノ將來ノ名譽ノ爲ニ慮ラレタコトデアルガ、ソレヲ別トシテ、此社會ニ於テ教護事業ト云フモノガドウモ位熱心ニ行ハレテ居ルカ、或ハ教護院外ノ一般社會トドンナ精神的ナ聯結ヲ持タナケレバナラヌカ、サウ云フ刺戟ヲ社會ニ與ヘル爲ニ、其目的ヲ以テスルナラバ、新聞紙上ニ發表サレタ方ガ却テ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ御心持デアラウト思ヒマスガ、ソレナラバ、教護院ハ斯ウ云フ善イコトヲシテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、ドウモ「教育ノ目的」ト云フ文字デハドウカト思フノデアリマス、此點ヲ適當ニ

御計ラヒヲ願ヒタイト思ヒマス

○牧野委員長 ソレデハ委員ヲ決メルコト
ハ後デ御通知申上ゲマス

○丸山委員 此次ノ委員會ハ、引續イテ小
委員ノ報告ニ依ッテ教護法ヲ繼續スルノデ
スカ、或ハ禁酒法ノ方ニ移リマスカ

○牧野委員長 總テ委員會ニ掛ッテ居ル案
ニ付テ進行致シマス

○丸山委員 ソレデハ特ニ希望ヲ申上ゲテ
置キマス、私ハ提案者トシテ、本會議ニ於
テ文部、司法、内務ノ答辯モアリマシタガ、
特ニ學生ノ取締ニ付テ、文部省、司法省、
内務省ノ參與員ノ御出席ヲ希望致シテ置キ
タイト思ヒマス

○牧野委員長 宜シウゴザイマス——本日
ハ是ニテ散會致シマス

午後零時二十分散會